

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： Low ASPECTS に対する血栓回収術後脳内出血の危険因子に関する検討

研究の目的

血栓回収術は、主に不整脈の一つである心房細動によって引き起こされる脳梗塞への外科的治療です。この手術は、画像を用いた ASPECTS と呼ばれる脳梗塞の点数づけを行うことで手術適応の参考としています。10 点満点で脳梗塞がなく、0 点で脳梗塞が最も広い点数づけとなりますが、これまでの研究結果によって 5 点以下の場合では術後合併症として脳出血の可能性が高いとされています。これにより経過が不良となる原因となったり、リハビリ開始が遅れる原因となったり、心房細動による血栓形成を予防する内服薬開始の遅れによる脳梗塞悪化のリスクが高くなったりするため、その予防は治療や経過に対して重大な影響を与え得ると考えられます。そこで、本研究では脳出血が多いとされる低 ASPECTS (5 点以下) の術後脳出血に対する危険因子の検討を行い、その予防や経過の改善を目的とします。

研究実施期間： 年 月 日 ～2023 年 3 月 31 日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2015 年 1 月から 2021 年 12 月の当院における血栓回収術後患者様を研究対象者として選定し、非手術症例や研究同意が得られない手術症例は除外します。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、患者特性 (性別、年齢)、血圧、採血・画像等の検査データ (白血球数、CRP、血糖値、ASPECTS 減点の位置、白質病変、微小出血、側副血行)、生活歴 (喫煙・飲酒)、既往歴 (心房細動、高血圧症、糖尿病、高脂血症)、内服歴 (抗血小板薬、抗凝固薬) などについて、標記研究課題実施のために利用します。これらが脳出血の発生率に影響を与えるかどうか統計学的手法を用いて検討し、危険因子を明らかにしたいと思っております。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して (これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	脳神経外科学講座 木下翔平 0172-39-5115/kinoshita@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---